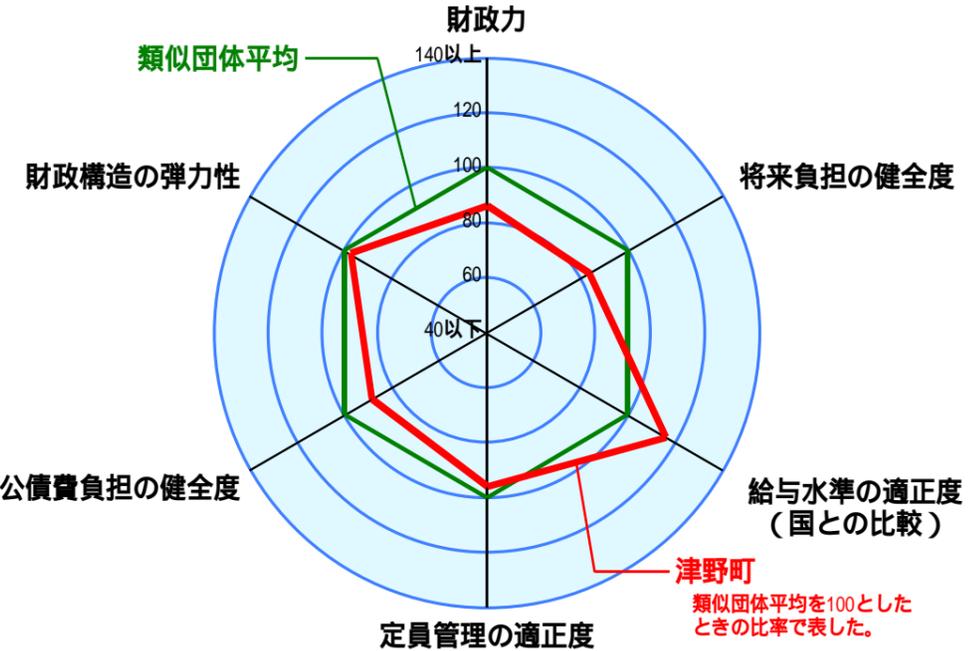
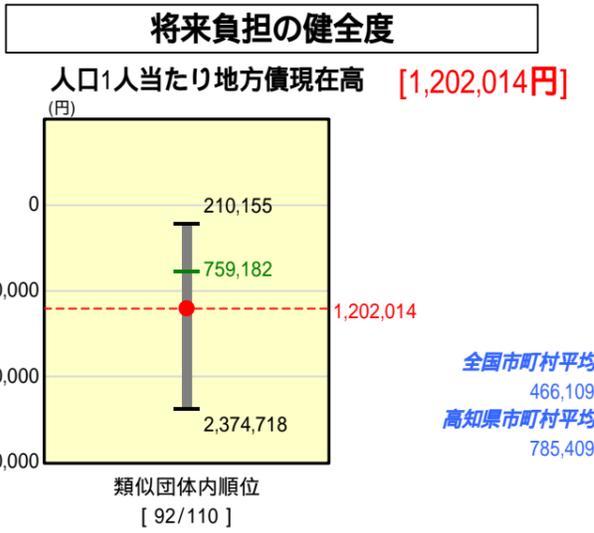
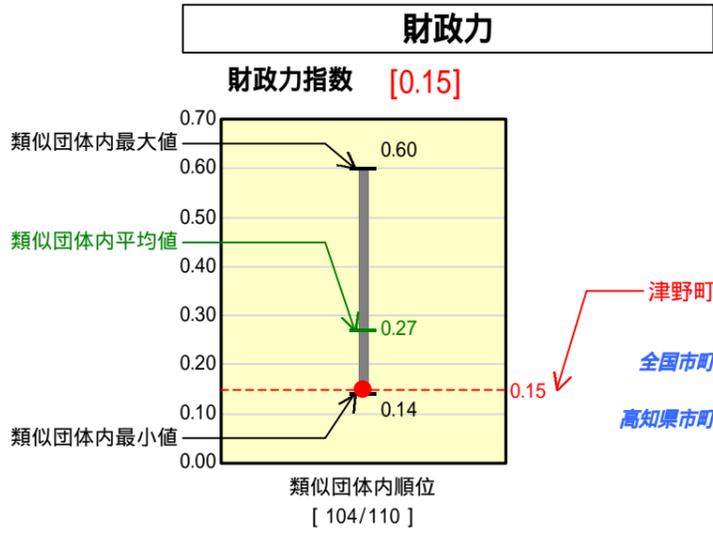


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

高知県 津野町

人口	7,264人(H17.3.31現在)
面積	198.22 km ²
歳入総額	6,154,324千円
歳出総額	5,998,542千円
実質収支	92,505千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】
・類似団体内最小値に近い数値となっている。平成19年度以降は風力発電償却資産(20基分)が増える見込であるが、大きく財政力指数が伸びることは期待できない。

【経常収支比率】
・類似団体内のほぼ平均値となっているが、平成17年2月1日に市町村合併し、平成17年度以降においては合併の最も大きな効果である職員数を減らしているため、平成20年度前後には80%程度まで落とすことができるよう努力する。

【起債制限比率】
・公債費が平成19年度から20年度にかけてピークとなるため、まだ、上昇するが、平成17年度には5億円を超える繰上償還を行い、後年度負担を年間約50,000千円軽減することができた。また、平成17年度においては、任意に公債費負担適正化計画を策定し、計画的な地方債の発行、繰上償還、減債基金への積立を行っていきこととしている。

【人口1人当たりの地方債残高】
・類似団体内の平均値よりも低い状況であるが、任意に策定した公債費負担適正化計画に従い、平成21年度頃までに標準財政規模の2倍程度まで落としていくよう努力する。

【ラスパイレス指数】
・類似団体内では、110団体内中12位である。今後においても、給与の適正化を継続していく。

【人口1,000人当たり職員数】
・類似団体内のほぼ平均値となっているが、この数値は合併前の数値であり、合併後に作成した定員適正化計画により職員数が減っており、今後においても削減していく。

